

「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料

関東農政局統計部

【茨城県の作柄概況】

1 茨城県における令和2年産水稻の作付面積（子実用）は6万7,800haで、前年産に比べ500ha減少した。また、主食用作付面積は6万5,500haとなった。

2 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数がやや少ない、1穂当たりもみ数が平年並みであることから「平年並み」となった。

3 登熟は、8月上旬以降の高温・多照の影響により「やや良」が見込まれる。

4 この結果、茨城県の10a当たり予想収穫量は531kgで、前年産に比べ27kgの増加が見込まれる。

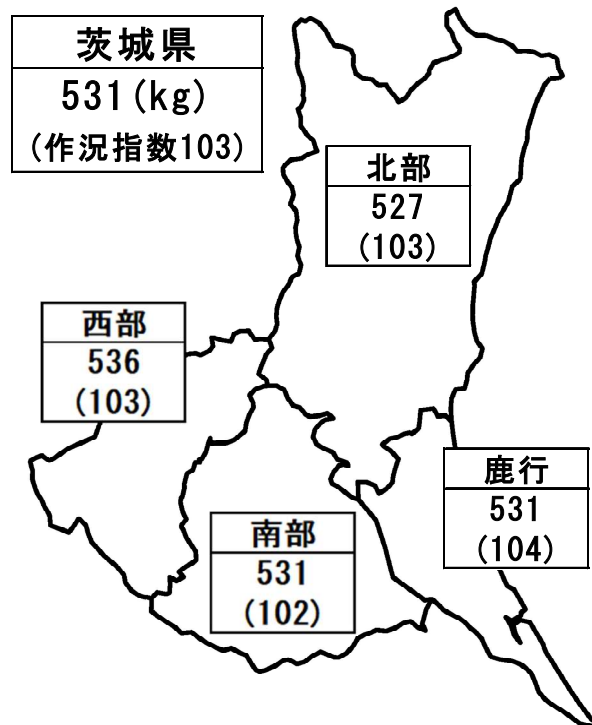
また、作柄表示地帯別では、北部で527kg（前年産に比べ17kg増加）、鹿行で531kg（同19kg増加）、南部で531kg（同30kg増加）、西部で536kg（同37kg増加）が見込まれる。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.85mm）で選別された茨城県の作況指数は103が見込まれ、作柄表示地帯別では、鹿行で104、北部及び西部で103、南部で102が見込まれる。

5 以上のことから、予想収穫量（子実用）は36万tで、前年産に比べ1万5,800tの増加が見込まれる。

また、主食用作付面積に10a当たり予想収穫量を乗じた予想収穫量（主食用）は34万7,800tで、前年産に比べ1万3,100tの増加が見込まれる。

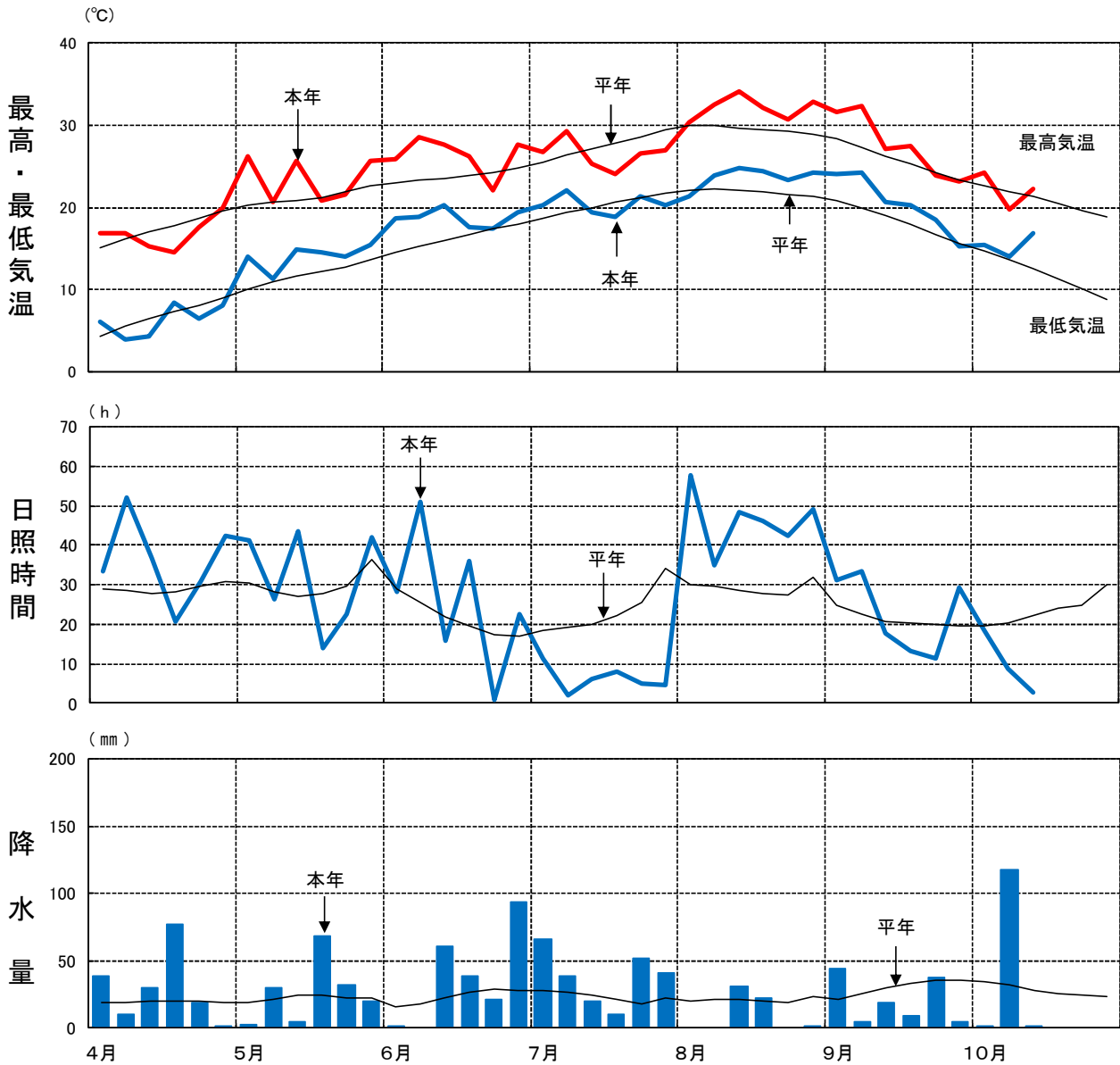
図 作柄表示地帯別10a当たり予想収量及び作況指数（10月15日現在）



○ この資料は、「令和2年産水稻の作付面積及び予想収穫量（10月15日現在）（関東農政局管内）」10月30日公表の補足資料として作成したものです。詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和2年 半旬別気象（水戸）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について
 関東農政局 茨城県拠点 統計チーム
 電話：029-231-2266
 F A X：029-227-1535